

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (/)
219	207		
項目名			
おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0747.70	bogju: 〈10才以前は牛はいなかった。21才あたりから飼った。子どものはは南部牛がきた。〉	
0840.33	beko 〈普通〉 otokowji 〈希〉	tanewji tanebeko
0873.94	beko 〈古〉	owji
0896.22	／ 種牛のほかには、乳牛しかいない。	
0897.91	ボギョウ (新) 市場の人の交渉が多くなった為である。	
1719.38	NR 何とも言わない。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
219	207		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(2)
おうし		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
1739.10	NR 種牛しかいない	
1742.24	牛を飼っていない	
1798.13	taneufi 〈牝の大きいもの〉	osuw
1814.25	NR 種牛の他は乳牛だから使わない	
1816.52	タネウシ 二の外はいない	
1862.48	NR 〈はくろくは〔コトイ〕という。〉	
1863.48	オン 〈商売ではホギユウ〉	
1942.03	ontabeko } 〈根室の町にはいない、原野で taneufi } 飼っている。〉 ufi } 〈oufi, meufi は希、見ればた ufi } という。〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

買付番号	地図番号	① 普通注記	ページ
219	207		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(3)
おうし		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
2700.48	オンツ タネウシ 〈生れたばかりの牝なら馬でも 牛でも豚でも鶏でもオンツであ る。牝はタネウシしかないから。 オンツ以外の牝はいないことになる。〉	
2722.67	コテ") 昔 コテコ	オス
27 54 ⁶³ .89	tsitsibego 〈種牛〉	odogobego
2803.22	ウシ これしかない。	
2812.96	オンタ 〈馬牛羊ヤギ オブてオスはオンタ〉	ouſi
3639.49	odogobego 特殊なし ouſi	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (4)
219	207		
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3649.16	NR bego. üsī 持称なし	
3649.64	odogobego 持称なし	
3688.82	(調査せず)	
3689.75	NR なし	
3702.89	tsidzibego 〈tsidzi は父〉	
3706.91	odogo tsitsibego 〈種牛をいう。〉	odogobego
3710.91	tsitsi bego (種牛)	
3712.89	kode bego (男牛)	
	tsitsi bego (種牛)	
3720.71	odogobego 持称なし	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (5)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
3722.32	NR 不明	
3722.97	odogo bego 特殊なし	
3731.46	tsitsiüsi (種牛)	odogobego
3732.26	tanebego (種牛)	odogo bego
3743.49	オトゴ"ベゴ" 飼っているか新しし	
3745.62	バゴ" 220の注に 〈雄雌とも オナゴ" をつけオ"に単に バゴ"と普通いう〉のあるのにより加	オトゴ"ベゴ"
3746.76	チジウシ (種牛)	オトゴウシ
3747.91	オトゴ"ウス (希)〈種牛以外はいない〉	.

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (6)
219	207		
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3752.47	tsidzi bego (種牛)	odogo bego
3752.89	odogo bego 特称なし	
3753.88	オトゴウ <ウス 雄はいない>	
3754.76	オドゴヘゴ <古>	オドゴウス
3766.47	ツツヘゴ (種牛もいう)	
3770.49	odogo bego 特称なし	
3770.62	NR (なし)	
3772.73	gandzo (種牛)	
3773.12	ツツウス (種牛)	オドゴヘゴ
3777.32	オトゴウス (新上品)	オドゴヘゴ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (7)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3777.86	オト"ゴ"バゴ" <古>	オト"ゴ"ウス
3780.65	odogo bego 持称なし	
3781.86	tsidzi bego (種牛)	odogo bego
3783.08	otokoufi 持称のときのバゴは使わない。	
3791.02	tetebeko <オウシにいえは"> ① otokobeko	oussi
4589.83	gotte <古>	otokoufi
4597.66	ゴッテウシ <ゴッテウシは大ききたない>	オウシ
4618.49	NR <他人はotokonousiという>	
4619.23	NR いる	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (8)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4643.47	tanebo: 〈種牛のこと&いう〉	kotte:
4652.79	[kottewji]	
4657.64	? otokowji	
4676.42	NR このあたり牛を飼っていることが少ない。	
4685.10	NRに分類 ufji…〈雄雌の区別なし〉	
4689.62	odogowji 〈共〉 odogobego 〈希〉	
4694.95	otokobo 〈普通〉 otokowji 〈昔から用いている〉	
4696.82	otsukowji 〈新〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は縦書きにする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (9)
項目名			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4697.92	odogowji 〈希〉	
4704.45	? オト"ゴ"イコ"	
4705.20	NR (雄雌の区別がはっきりしない由、 導入されて向もないの?)	
4712.54	odogowji 〈新〉	odogobego
4713.45	osttt u si 〈早く言とき〉	otogow si
4713.60	odogow si 〈?〉	
4714.22	odogow si 〈新〉 odogobego 〈古〉	
4714.68	odokow si 〈新〉	NR

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (10)
219	207		
項目名		おウシ	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4715.98	odokobeko <希>	odokoufi
4716.20	*otokoufi	ost
4722.55	ja lo: bego (二重では「野郎」というのは男の子のことである。)	
4724.28	odokousi <無理に言えは>	NR
4724.75	odogoust <新> odogobego <古>	
4725.01	タネノコ <種牛>	オノコノコ
4743.44	odogousi <?> odogobeko <古><?>	

4736.63 未調査とみむ: 219~222までNRのため

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (11)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4745.27	未調査とみとむ 219~222まで NRのため	
4751.42	kodé bégó (普通)	odogo bégó
4752.11	odogo beko 〈?〉	
4753.36	tanebeko (種牛をいう)	
4760.98	otokobégó éは狭い	
4771.58	odogobego 〈希〉	
4781.86	odogowfi 〈希〉 odogobego 〈希〉	
4784.41	odokobego 〈希〉	
4790.30	tanebo 〈=此も使う〉	otokowfi

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (12)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5462.29	バコ 〈大きい牝牛〉	コテ ^ハ エ
5463.12	バ ^ハ ッコ 〈丸なるもの〉	コテエ
5463.73	バコ 〈大〉	コテ
5471.59	バクテ 〈大〉	コテ ^ハ エ
	タネウシ 〈種牛〉	
5472.91	bakura 種牛	kote
5517.24	bakko 牛一般もいふ	oufi
5556.84	gottebo 〈古〉	otokoufi
5568.57	テッチ 〈卑〉 (テッチは牛に限らず、他の動物でもかまに使用される。)	ホ ^ハ オウシ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (13)
項目名 おかし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5569.36	テ ^ニ チウシ 〈昔〉	オスウシ
5574.42	tanawsi } 〈種牛〉 usji no tanabo }	ombowsi
5575.93	otokowsi 〈近くにはbo ^o というところもあるが ニコシはいない〉	
5579.10	? オトコウシ 〈共〉	
5579.42	ju:ŋju: 〈いいニシは〉	osue usji
5585.63	tanebo 一種牛 今は殆んど人工授精のため 種牛はいない。	otokowsi
5588.02	ホ ^o オ (他の動物の場合にも使う。)	オトコウシ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号 219	地図番号 207	④ 普通注記	ページ
項目名 おうし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(14)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5589.30	ボオ (牛に限らずおすの動物一般にいうことば)	
5590.53	ゴッテエ (ヤヤ古)	オトコウシ
5602.99	ouuji 〈英〉	
5605.57	オツコウシ otukouji	
5605.70	otokouji 〈kottemujiという語を昔の人は使った〉	
5611.74	タネバオオ [ゴッテウシ] (荷車(運送車)などを引く牛をいうらしい。)	
5613.48	kote 〈古〉	osuu

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は厳密にする。

買附番号	地図番号	A 普通注記	ページ (15)
219	207	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	
おうれ			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5617.85	otokouji 〈希〉	
5618.43	odogouji 〈希〉	
5620.32	オトゴウ ^シ $\bar{x}_i = si$	
5622.48	bojaro (ヤ>下品な感じがあるのであろう) bo	
5623.27	jarouji {otokouji} {jarouji} (ヤロベボなどなし)	
5625.91	kotte 〈多く用いる〉 [kotte]	otokouji
5631.16	gotte:uji 〈古〉	otokouji
5631.75	kotte:uji 〈古〉	otokouji

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	㊤ 普通注記	ページ
219	207		
項目名		〔B 除いた共通語〕	
おうし		〔C 除いた特殊語〕	(16)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5635.65	オトコウシ 〈オウシトイワナイ〉	
5638.54	オウシ 〈普通の言い方〉	オスウシ
5641.13	kotte ufi 古 otoko ufi 〈牛はぶつウシとイウか。 強いていえは〉	
5641.73	{kotte ufi}	
5643.33	? otokoufi	
5644.74	ヤロオ 〈卑〉	オスウシ
5645.89	オキユウ 〈新〉	オス オトコウシ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (17)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5648.96	オスウシ 普通の言い方	オトコウシ
5649.65	オウシ 〈多く用いる。〉	オスウシ
5655.57	オトコウシ 〈オウシといわない〉	
5657.73	タネボオ 〈希〉	
5658.89	オス オトコウシ } とは普通いわない	
5659.78	? オトコウシ	
5666.18	オスキユウ 〈オウシトユワナイ〉	
5667.77	tanebo: =種牛	
5668.38	オス 〈必要な時はウシオスという。〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	① 普通注記 ② 除いた共通語 ③ 除いた特殊語	ページ (18)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5668.51	NRに分類 218~220までウシ 〈おす、めすを区別した特別の 言い方をしない〉	
5670.47	bonu: 〈共〉	otokouji
5672.67	tanebo: 〈種牛のときたけ〉 [onta] 〈希〉	otokouji
5672.75	NRに分類 〈別に区別していわない〉 218ウシ, 219uji, 220uji	
5675.36	オウシ 〈多〉	オスウシ オトコウシ

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

資料番号 219	地図番号 207	④ 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (19)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5676.10	osuuŋi たいてい言わないか!	osuu
5676.52	オスノウシ (時にこの名称なし) 言うときは「オスノウシ」	
5677.14	otoko ŋi <乳牛の場合は bog ju: といふ。>	
5677.60	オスウシ (馬の場合と同じではないか)	
5678.86	ヤロオウシ <おすは少ない> 従って、ウシといたらす。	
5679.86	osüüŋi (荒) osüü osüüŋi	otokoüŋi
5682.34	osuu <osuu といふだけだ>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<()>は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	④ 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (20)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5682.37	osuji <新しくいった>	
5685.02	otokouji オコノウシはときいてみたら。	
5685.37	NR <牝牛はいない>	
5686.67	オウシ (乳牛が何頭かいる程度)	
5688.37	オウシ 特別なし	
5688.86	NRに分類 218~220ウシのため。	
5689.98	otokouji <[ouji]とは言わないのが普通>	
5690.27	?ouji <最近はいってきたもので?>	
5696.68	kakeosut } <共に種牛のこと> kakebo }	ouji

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ② 除いた共通語 ③ 除いた特殊語	ページ (21)
219	207		
項目名			
あうし			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5697.24	オスウシ <今、ニの辺ではつぶしてしまっていないか>	
5698.91	osüuufi <?>	
5699.25	ouufi <酒造農業はしていないので、牛が最近いなくなった。但し牛を見ないというのではない。>	
5703.68	<単にosüuという>	
5703.70	tsst <tsstとヒ、えはオス>	
5711.85	otokoufi <爺>	
	otokobeko <古>	
	osuuufi <共>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (22)
219	207		
項目名			
おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5712.70	NR [osü beko]	
5731.29	NR 〈飼っているのはおすの牛ばかりで おすの牛を特にいうことはない。〉	
5732.13	*osuwifi	otokowifi
5732.78	osü 〈そのものについていうからまちがわぬ〉	
5733.02	otokowifi 〈余り、わない〉	
5741.25	osuwifi 〈希〉 別に調査した他の被調査 者によれば、odokome	onju:
5752.32	osw (馬のおスはウマという。)	
5760.24	osw no wifime 〈多〉	osw no wifinemo

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
219	207		
項目名		(B 除いた共通語)	(23)
おうし		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5761.77	otokome (さきに214の答が同じであったので、まぎれはないかをきいてみると、今牛だけを飼っているので普通は牛についていうことが多く、不便はないとのことである。)	
5782.25	ouji (市街地なので牛は飼っていない。近郊には多い。)	
5790.03	jaro:uji 強いていうと -急のため-	
5791.23	オス これだけでも使う。	osumaji ouji

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (24)
219	207		
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5791.68	owju [jarowju]	
5793.74	onju: 〈馬喰との取引の時に使う〉 odoyowju 〈多い〉	
6267.84	kotte: 牛のこぼれ	
6287.71	kotte: 〈希〉	otokowju
6338.99	[ジャトイ]	
6339.37	タネウシ 〈種牛〉	ジャトイ
6339.86	タネウシ 〈種牛〉	ジャトイ
6348.77	タネオシ 〈種牛〉	ジャトイ
6349.23	タネウシ 〈種牛〉	ジャトイ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (25)
219	207		
項目名			
おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6349.67	タネウシ <種牛>	ゴットイ
6349.80	kottoluzi bo <新>	
6356.98	タネウシ <種牛>	ゴットイ
6357.38	タネウシ <種牛>	ゴットイ
6357.74	タネウシ <種牛>	ゴットイ
6358.43	タネウシ <種牛>	ゴットイ
6358.87	タネウシ <種牛>	ゴットイ
6366.16	未調査 (牛を飼っていない地方)	
6366.67	kottoi (牛を飼っている地方)	
6367.09	タネウシ <種牛>	ゴットイ

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >()〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (26)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6374.68	[kottoi]	
6375.08	未調査 (牛を飼っていない)	
6375.40	未調査 (牛を飼っていない)	
6377.11	タネウシ <種牛>	ヱトイ
6384.25	kottoi <古.多>	ouji
6385.10	kottoi (牛を飼っている地方)	
6389.56	ヱトイ (多)	オス.オン
6395.61	oaji ①oawdzu	
6401.89	タネオシ <種牛>	ヱト
6402.94	タネオシ <種牛>	ヱト

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は裏面にする。

質問番号 219	地図番号 207	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (27)
項目名 おうれ			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6406.92	ゴッテ 多く用いる	オン
6407.43	ゴット1 石黒著 ゴッテ ゴッテウジ	
6410.77	タネオシ 〈種牛〉	ゴッテ
6412.48	タネオシ 〈種牛〉	ゴッテ
6413.10	onta (鶏・兎にもいっらしい)	kot:e
6416.58	タネウジ (種牛のニと)	ゴッテ
6420.34	タネオシ 〈種牛〉	ゴッテ
6421.82	bogju 〈新.多〉	kottol
6422.16	タネオシ 〈種牛〉	ゴッテ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	④ 普通注記	ページ (28)
項目名 おとし		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6422.77	タネウシ 〈種牛〉	ゴッテ
6423.75	kot:oi 〈こしらの方を多く用いる。上。下。の区別はない。〉	kot:e:
6428.13	ゴッテ 地域(但馬)は昔から牛の飼育は盛んで但馬牛の名は多いが、横行(部落)は、現在飼育数は1匹である。	
6429.15	タネウシ 〈種牛〉	ゴッテウシ ゴッテ
6429.30	ゴット1 〈土帯〉	ゴッテ
6430.53	タネウシ 〈種牛〉	ゴット1

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地区番号 207	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (29)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6430.53	タネウシ 〈種牛〉	ヱットイ
6431.41	タネウシ 〈種牛〉	ヱットイ
6439.17	kottou 〈物原谷小学校長(下流の部落出身)は kotte:きう〉	
6440.25	〔チウシ" 古〕 〔父牛?〕	ヱットイ タネウシ"
6440.67	タネウシ" 〈種牛〉	ヱットイ
6441.19	ヱットイ toi か toei に近い	
6445.57	ウシ/オン 〈ヱットイ〈老〉〈希〉〉 オンウシ"	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (30)
219	207		
項目名			
おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6451.83	コトイ $kottoi \rightarrow kotte:$	
6459.87	ホオ \langle 新希 \rangle	コトイ
6462.59	コトイ $テイ, \#t\ddot{e}i: \text{にちカ}$	
6464.23	コトイ \langle 普 \rangle	コトイウシ
6467.73	kottoriufi ㊦ kottoriufi ujinoon	
6474.03	ホオ \langle 乳牛の糞のこ \rangle	コトイ
6476.92	コトイウシ \langle 徳島県の方からくる角の大きな からしいした恐ろしそうな牛を百姓 はコトイウシと呼んでいる(うでぬ)。 \rangle	

(雄牛という受け取り方ではないように
あった。)

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (8/)
項目名 おうれ			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6476.93	タネウシ } 種牛のこと タネウシ }	オンコ
6482.75	ko+to: <島内には牛は多くいる。>	
6486.07	タネウシ 百姓の言葉をまいておのずから ゴットイ しているという語である。	
6486.93	オンウシ <最も普通の……方>	オンウシ オンノウシ ゴットイ
6487.43	タネウシ <タネウシは"たねうしやつ"である>	オンウシ ゴットイ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
219	207		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(32)
おうし		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6491.49	kot:oi (海岸部の大浜部落では kot:eともいう。)	
6496.56	kottoi 大きい恐ろしいようなものた(け)に(い)る	ontə
6500.22	ɔw ɕi この語においても〔oi〕→〔oei〕→〔e:〕の 変化が完全に起っている。 むしろ「コット」語形を余り用いない ともいえる位である。	
6500.88	kottoi 〈古〉	onname
6504.44	kotte 優先	otokouji
6506.55	オン (牛に限らず、家畜でおすのもの全体に通用 する。)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

買冊番号 219	地図番号 207	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (33)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6507.72	オス 〈他の動物の雄にも使う〉	
6509.38	オンタ 〈馬・牛・豚・羊などのおすをよびこしは〉 オトコウシ 〈希〉	
6509.43	オスウシ 〈共〉 〈方言はない〉	
6515.24	kotte } 種牛 kotte-ushi }	ouji
6515.70	kotte 〈種牛〉	otokome
6516.15	オンタ (他の家畜にも使うことば)	オン
6517.31 ^(註)	〈オウシ〉 質問は(オスウシとかオウシと言いますか)。 (オンと言っているのではあろう。勿論この語は他の家畜などの場合にも使われよう。)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >()〔 〕は厳密にする。

頁目番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
219	207		
項目名		[B 除いた共通語]	(34)
おウシ		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6518.30	オンツ (牛に限らず他の家畜の場合にオウ)	
6519.67	オンタ <牛に限らず馬・豚・羊などにも使う。>	
6520.94	ゴットイ <通オウ>	オンタ
6522.03	ゴットイ (ていふい)	オン
6522.37	ゴットイ <古>	ゴットイ
6526.04	オン <牛に限らず他の動物のオウ。例えばウシオン 馬・羊・豚などのオウに対しても使う。>	
6526.45	オン } (牛のおウに限らず使われている。 オンタ } 馬のおウも。)	
	<オ> オスウシ	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

買付番号 219	地図番号 207	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (35)
項目名 おウシ			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6526.98	オンタウシ 〈仏カ〉	ジツテウシ
6527.44	未調査 牛を飼っていない	
6528.64	未調査 牛を飼っていない。	
6528.21	? ontuwi ? ontsu 〈他の家畜にも使う〉 〈自分の家には飼っていないのでよく判らない〉	
6529.63	? ontabo:	
6529.88	osu 〈他の家畜にも使う〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕()〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	① 普通注記	ページ
項目名 おうし		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(36)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6533.36	onta <牛以外の動物にも用いる> kotte <種牛>	
6534.85	bo: <種牛>	kotte on
6536.32	onta <雄牛ではなくて雄一般と思うか? 被調査者はこう言う主張する。>	kotte
6536.68	kotte <ぶつうにオスの意味> tanewi <牛乳屋などメスばかりいる所に 一匹だけいるオスをさしていう。>	
6537.58	osu <共> <他の家畜にも用いて可> onta	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (37)
219	207		
項目名			
おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6538.02	onta 〈他の家畜にも使う〉	
6539.78	ta.nembo: 〈種牛〉	otokouji
6541.66	? アコ	オンタ
6542.27	オンタ 〈年り多くない〉 牝牛の特定語形わか らぬらしい	
6542.71	onta 牛・犬・猫・鶏にいつか牛のヒキモこれを 多くいう。	
	kotte 〈カ〉	
6545.41	bo: 〈専〉 〈はくろくなどの使う専門語で 一般の人々は使わない。〉	kotte onta

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (38)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6546.15	オウシ 〔コッテウシともいう〕 〈コッテウシというのは おすめすに關係なく 茶色の牛のことをいうのだ。〉	
6547.09	On.ta 〈他の家畜にも使う〉	
6548.02	On.ta 〈他の家畜にも使う〉	
6548.82	on.ta 〈他の家畜にも使う〉	
6549.03	kote: 〈子牛の場合には使われぬ。成牛に用ゐる〉	
6549.60	〔kotebo〕 インフォーマントの子息 45才による	
6549.69	ontsü 〈他の家畜にも使う〉	
6552.88	katte 〈古〉	onta

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
219	207		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(39)
おうし		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6553.47	onta (どちらを使う。「種牛」の名はなかった。) kotte	
6553.52	kotte: 〈多〉 (戦前は10軒に7軒は onta 〈少〉 飼っていた。現在は、1割程度に すぎない。)	
6553.83	onta (オンタウシとは言わない。 コッテは牛車用の牛なので、雄牛 とは限らない。)	
6553.99	kotte: 〈おすの牛をすべていう。特に力の 強い牛とは限らない。〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	① 普通注記	ページ
項目名 おうし		〔B 除いた共通語〕	(40)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6554.08	オンタ 〈ぶつうはオンタ。牛たけをいうわけではない。〉	
	コッテ 〈特に牛たけを言う場合〉	
6554.45	ON 〈たゝ。オンというたけだ〉	kotte
6556.60	ゴッテウシ 〈農耕用〉	
	タネウシ 〈乳牛〉	
6557.14	kotte 〈他〉〈被調査者自身は牛をかっていないからよくしらない。しかしかっている人達は牡牛をkotteというようだ〉	on tauji

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	① 普通注記	ページ (4/)
項目名 おうし		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6557.36	〔kotte〕	
6557.77	otokouji < 牡の牛をわいて指す > kotteuji < 耕作用の牡牛 >	
6558.10	onnta < 但し豚にも使う >	
6559.67	Ontsu < 他の家畜にも使う > osu < 其 > < 取らたまったときにっかう >	
6562.22	㊦テウシ < 角のある大きな牡牛 >	
6562.48	オンタウシ (この町には㊦テウシという人も いる)	
6562.64	㊦テン < 種牛であつても同じ >	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
219	207		
項目名		(B 除いた共通語)	(42)
おうし		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6563.43	kotte <特に力の強い牛>	ontauji
6563.84	ON } <ON, ontaは ^{オス} 牡, 雌のことだが、 onta 実生活でON, ontaというときは 牡牛を指すことが多い。>	oauji
	kotte <右>	
6564.33	gotte <馬のオスは「オンダ」(犬のオスでも「オンダ」)であるが、牛のオスは「オンダ」といわず、特にゴッテという>	
6564.51	tānebo: <種牛>	kotte

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

買用番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
219	207		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(43)
おうし		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6565.09	ONTa (ONTaの方は有雄一般で特に牛のみに限らないと思うが、被調査者は→答えた。)	kotte
6565.22	ゴッテウシ <オウシとはいわぬ>	
6566.51	osue <osue no uiji といえは向違いない。kotte といふのかい多分オスビと思うがそれは手におえぬ位おられる牛のことをいう。>	
6567.79	飼っていないので質問しない。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕()は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (44)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6568.09	on-tsü <他の家畜にも使う。> ON [共]	
6568.13	ontsu <家畜一般に使う>	bo:
6569.12	ontsü 特に牡牛のことをいうことはな いが、牡牛のことをいうことはほかに ない。牡馬も同じかう。	
6571.34	onuji (戦前は100軒に70頭は飼って いた。市役所の北、南部は 農業と産業としているから。しかし、 現在はかなり減少した。)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	④ 普通注記	ページ
項目名 おかし		[B 除いた共通語]	(45)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6572.04	on <多> <十年前までは三軒に一頭の割、 onta <少> 今は三軒に一頭の割で飼っている。 特に力の強いのを コツテウシという。	
6572.29	onta <コツテというのは、おすめすを向かず、 on 力の強い大きな牛をいう。> (この地方では、何頭かほんの少し、 牛を農家で持っていたことがある。)	
6572.55	onta 牛のことにいう。大'などにいわぬ <多>	kotteufi
6572.97	kotte <ただし、人畜に「コツテ」を使うと、人畜の 根性悪い者をいう。力の強い意ではない。>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () () は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	① 普通注記	ページ
項目名 おうし		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(46)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6573.17	onta <他地方で「コッテウシ」という語があるか? ここでは「オンタ」という。オンタウシとは言わぬ。>	
6573.71	onta (とくにオンタウシのように「ウシ」はつけない。)	kotte
6574.06	kotte (おすの「ウシ」の総称である。) タネウシ <特に種牛になる牛>	
6576.56	kotte いる	
6577.13	kotte <頑固な牛>	oufi
6577.71	* kotte (オラ着の発音によって訂正)	oüfi

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

買冊番号	地図番号	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (47)
219	207		
項目名			
おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6580.66	コッテ <おすウシのうち、大きな肩のいかた荷を引く牛をいう。>	
	オン <小さなおす牛>	
6581.36	オンタ <オスウシとは言わない>	
6584.90	on <これは材木を引くのに使った>	
6585.83	onufi <帚> * kotte	
6587.42	未調査 牛を飼っていない。	
6592.10	コッテウシ <帚>	コッテウシ
6593.30	誘 kotte <古>	o ũuzi o ũufi

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >()〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	④ 普通注記	ページ
項目名 おうし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(48)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6594.19	kotto'i <古>	onta
6594.67	オンタ (ウシだけに限らない)	ゴットイ
6595.32	未調査 牛を飼っていない	
6616.79	NRに分類 218~220 ufiのため	
6621.94	<kotembo:>	
6624.65	oufi 馬喰はkote:とゆうと、	
6630.82	tanebo: 種牛 <bo: は牝牡の牝> <bo: と行ってきとめるから>	kote
6634.32	kote: ufi 希	otokoufi
		oufi

6618.46 オトコウシ 今飼っていない

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

頁目番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (49)
219	207		
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6635.87	kote: 希	osumaji
6639.79	jaro:uji <希>	toke:(uji)
6640.29	osu <他の家畜にも使う>	
6640.76	osu <他の家畜にも使う>	
6645.37	osumaji <希>	kote:
6650.70	otata <「おた」にも「とり」にもいう>	
6651.64	bo: 希	osumaji
6652.06	?osumaji	
6652.77	kakemaji 種牛	otokomaji
6655.38	kote:bo ^o ko 後牛 促音とキコ	otokomaji

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >()〔 〕は厳密にする。

買付番号 219	地図番号 207	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (50)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6655.87	osm <多> sibo (種牛) katemji (種牛 (kateru 交尾させる) という)	kote:
6697.39	bo:kko: <成牛の雄> jaro <成牛の雄にも、また子牛の雄にも用いる> kakebokko: <種牛>	
6697.49	kakebo <種牛>	kote koteuji
6697.59	kakebo: <種牛>	koteuji

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

資料番号 219	地図番号 207	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (51)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6698.20	otokowji <共> jaro <最も普通に使われる> tanebo: <種牛>	
6720.23	ote:wji 雄牛の大きいもの	jarowji osuwji
6730.27	jaro:wji <昔>	osm:ji
6730.33	kote 生まれたての牝牛	bogju: osuwji
7238.12	goro <仔牛の雄について使うことが多い>	kotte
7239.29	owji <同所で「おウシ」>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

買置番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (52)
219	207		
項目名			
おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7249.35	コウテ <角の大きな雄牛>	オウシ
7257.94	kotte: <はくろくたちの用語>	otokouji
7268.87	*kotte:	otokouji
7269.51	tamatori 去勢牛	kotte
7279.01	*オトコウシ	オウシ
7279.65	NR 雄牛・雌牛の区別なし	
7302.87	kot:oi (博多湾岸地帯の標にコウテとは ならない。)	
7304.26	未調査 (飼っていない。)	
7309.61	kottoi <種牛はtanewzi>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	(A) 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (53)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7312.69	kot:e (昔) otokō-ūji (今)	
7323.17	kotji i uji (筑お筑後に出ない称呼である)	
7324.24	kōtsu (kōt:e > でない) kotoi	
7324.96	kot:e (多し)	
7332.52	kōt:e (農村ではこう云っている)	
7332.97	uji とだけ云う (? 区別ある筈)	
7336.28	kotte (古)	otokouji.
7341.42	kotteuji コツテウジ <雄牛の大きいもの。女の わる口に使うことがある>	オンオウジ ont(o:u)ji

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (54)
219	207		
項目名			
おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7341.51	kotte (必ずしも雄牛の意ではなく、大きな老雄牛などについていう曲)	
7342.10	kō t:ie とも時に云う。 (諺 コツテウシヤ シンテモ タワ=コウ等)	otokō uji
7342.12	osuu uji otokouji (再三の問いにコツテ、コツト聞いた) 二ともないと答えたが、肯っていたか ねたところ 答えたもの。	
7342.72	(?)otokouji か	
7349.07	omo:zi <希>	osuu
7349.86	未調査 (飼っていない。)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号 219	地図番号 207	① 普通注記	ページ
項目名 おうし		〔B 除いた共通語〕	(55)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7349.91	ko ⁺ te uŋi 〈牛はいない。〉	
7351.09	ouŋi 〈コッテなし〉	
7352.14	オトコウシ オウシ 〈コッテとはいわす。〉	
7352.97	? コッテ	
7355.48	kottwi: 〈古〉	otokouŋi
7361.82	誘 kot te	otokouŋi
7366.87	kotti: 〈古〉	kotsuŋi!
7368.32	NR 〈何か名があるのだが忘れた。〉	

(この調査地点には牛はいないから、復元しなくともよいのだが念のため調べてみる。退席せよ。)

- ▶ A・[B]・[C]などに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >()〔 〕は厳密にする。

買 置 番 号	地 図 番 号	④ 普通注記	ページ
219	207		
項 目 名		[B 除いた共通語]	(58)
おうし		[C 除いた特殊語]	

地 点 番 号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7372.03	<?> コツテ <?> コツテウシ	
7372.27	未調査 牛はいない	
7372.96	コツテウシ <荒女しく大きい雄牛をいう>	オウシ
7373.92	<[コツテ]>	
7374.75	オトコウシ (希)	コツテ
7375.96	kotui tuの音は存在する。 コト 如をgotuということがある。 一般にはgotuが多い。	
7377.27	kottɕi: <古>	kotsu

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (57)
219	207		
項目名			
おうし			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7381.38	<?> コツテ	
7391.94	オトウシ 2.3匹ぐらいいる。 [コツテウシ] 中学校長婦人	
7392.33	コツテウシ } 年寄の牝牛をいう。若い牝牛は コツテウシ } いわない。>	オトコウシ
7400.11	onami <牛は、こゝ僕か飼われている>	
7401.60	kotte <黄肌の牛は abewji と此雌雄ともいう>	
7403.21	kot:oi <自分は、あまり使われないか。一般には、 こゝいう人が多い。>	Onwji
7403.86	希 kottoi	on

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (58)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7404.56	kot:oi [童児にはbo:] 夫人の談。	
7406.53	op onta 〈昔はkotttoiともいった〉	
7412.26	未調査 219~222 NRのため	
7412.71	kinkiri 〈去勢してなぐてもよくぶ。〉	
7430.15	kotttoi 〈O:gottoiといたら非常に大きい 雄牛である。〉	Onuigi
7430.75	希 kotto	omozu
7430.80	NR (220でkotttoiも答え. 傍にいた夫人 からそれはオI[ON]じやないんでいいわね. so:kai neといていた。)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号欄に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (59)
219	207		
項目名			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7432.44	oj-uji オジにあらず	
7440.69	kot:oi 〈古〉	osui
7450.20	otoko uji 〈用途におて tsukijai uji tjitji uji などと云々〉	
7450.44	onta 単に木の意	kottoi
7470.29	onta (?)	
7471.38	kot:oi 参考までに	
7500.66	オンウシ 〈コヤチは大きいおすうして、ニ頭 にはいない。〉	
7503.48	kotte 〈一番多く使う〉	on onta

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (60)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7504.11	*kotte	o'usi
7504.64	*kotto'i	kotte'i
7511.93	コッテ (牛がいる)	
7513.15	kotte 9かた	
7513.43	コッテ 牛はオシ飼っている	
7514.21	ON 〈ONといえはオスのウシときまっている〉	
7521.16	コッテウシ <ていねい=言うとき>	コッテ
7522.94	オン <オスウシとは言わない。〉	
7523.05	*オンウシ	
	*オウシ	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 219	地図番号 207	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (6/)
項目名 おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7523.27	ゴッテ 〈農家では牛を飼っている。〉	
7659.62	zokkume 〈1頭牛用〉 heitame 〈役牛〉	
8301.76	ゴッテウシ 〈古〉〈や、古めかしい〉	オトゴウシ
8303.70	オス 〈牛にかぎっていう〉	ゴッ ゴッテ
8315.46	kotsi (kotiとkotsiとの間のような言い方。 kotjiではない。)	
8315.89	kote 〈多〉	kotebo
8333.03	kottew 〈u)まっけていう=とかが多い〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ (62)
219	207	〔B 除いた共通語〕	
項目名 おうし		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
8335.83	otoko uji 〈どちらかと言えば、こちらの方が多い〉	kotji
8342.35	lotte 〈希〉	otokouji
8354.14	kotteuji 〔古〕	otokouji
8361.31	gotte 飼ってはいないが	
8373.43	kottji ⊕ gottji	
9322.52	otokouji 〈英〉	lotte
0238.55	Fu:guti (大ゴツテの義)	
0257.43	mu:u'ji 〔新〕	kuti:
0276.50	Fu:giti (Fu:は大きい。gitiは古語 ゴト(九州のゴツテ)の転か)	

- ▶ A・(B)・(C)などに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は厳密にする。

買附番号 219	地図番号 207	① 普通注記	ページ
項目名 おうし		(B 除いた共通語)	(63)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0294.66	Fut'ti:ɸi (コッテウシの訛り)	
1156.89	ku:ti: 〈中年以上が用いる。〉	u:u:ɸi
1231.72	ɸut'i: 〈古〉	wu:ɸu:ɸi
1231.88	ku:ti: (中年以上の者が使う。)	wu:hu:ɸi
1241.96	k'u:ti: 〈南牛用の牡牛のヒト〉	wu:i:ɸi
1251.98	jiki:ga:ɸu:ɸi (wu:u:ɸiともいう)	
1260.87	k'u:ti: 〈古〉	wu:i:ɸi
1271.05	未調査 219~222 NRのため	
1271.20	ku:ti: 〈古〉	
	wu:u:ɸi 〈新〉	
	wu:u:ɸi: 〈新〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
219	207	B 除いた共通語	
項目名		C 除いた特殊語	(/)
おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0747.70	bo <to:dzai no bo, 2枚のbo という。3枚以上のものはいない>	bojju: <10枚以上は#は いなかった。2枚あた りから食った。 るごもの#身は南部牛 がきた>
0894.61	<生まれた時 ON>	otokouji
1859.84	? ousti というた? うか	otokobeko tanebeko
1942.03	ouji	Ortabeko? <根室の町には taneouji いない。原野で飼 っている。>

ouji

<ouji, meouji は希。見出し
たた"ouji"という。>

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
219	207	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(2)
おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5617.85	ouji <希>	otokouji <希>
5644.74	オウシ (共)	オスウシ ヤロ ^オ <卑>
5657.73	オウシ (共)	タネボ ^オ <希>
5677.85	オ ^キ ユウ <大きくて強い牛>	オスノウシ
5687.32	? オウシ (別にないとのこと。但し、時に圃 かれにはオウシと言うかも 知れぬとのこと) — (希)とみとむ	オスノウシ
5696.54	ouji <上>	O:ouji
6489.27	ジ ^テ <おすの仔>	オシ

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
219	207	(B) 除いた共通語	
項目名		(C) 除いた特殊語	(3)
おうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6507.72	<英> オウシ	オス<他の動物物の名性にも使う。>
6610.77	ouſi <新>	bo:(uſi)
6641.97	希 ouſi	otokouſi
7322.81	<kot:e 聞いたことはある	osuu ſi